

世界で最も愛される**悪役** **ヴィラン**。

各国で賞賛を浴び続ける

【中国伝統演劇×現代劇】の話題作、遂に日本上陸！

〈東アジア文化都市関連事業〉

中国国家話劇院

リチャード三世

理查三世

作：ウィリアム・シェイクスピア

演出：王曉鷹（『蘭陵王』『霸王歌行』）

出演：張皓越（『蘭陵王』）、涂松岩ほか



詛咒
Curse

谎言
Lie

占有
Having

奪
War

篡
Deceit



東アジア
文化都市
2019 豊島

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

2019年4月5日(金)～7日(日)
東京芸術劇場 プレイハウス

中国国家話劇院

理查三世

英国のオリンピック・イヤーを彩った傑作が待望の日本初演!

2012年、ロンドンオリンピック関連事業で「ワールド・シェイクスピア・フェスティバル」が開催された。その一環としてロンドン・グローブ座が企画した37の言語で37のシェイクスピア作品を上演する演劇祭「Globe to Globe」。日本からは地点による『コリオレイナス』が上演されたことで注目を集めたこの演劇祭で、本作『リチャード三世』は、中国の伝統的な演劇の技巧や文化的要素を盛り込んだ演出が「魅惑的だ」と絶賛され、高い評価を獲得。現在に至るまで世界各地で上演や再演が続いている。

500人を越える俳優陣を擁し最多のレパートリーを誇る中国を代表する国立劇場、国立劇団の中国国家話劇院は国内演劇を常にリードし続けてきた。現代劇の民族化、そして中国的表象の現代的表現を模索する演出家・王曉鷹は、本作で初めてのシェイクスピア劇に向き合い、中国的な精神を表現しながら、現代的視点、表現方法を融合させた。

京劇をはじめ中国の伝統演劇は「写意」の芸術といわれ、俳優は自分の存在だけで観客を引きつけ、自分の演技だけで舞台にないものをあるように見せる必要がある。本作もまた「一卓二椅(いったくにい = 机一つと椅子二脚)」といわれる、からっぽに近い舞台の上に、宮廷の密室や牢獄、街角、そして血腥い戦場を、俳優が身一つで描き出していく。

主人公リチャード三世を演じるのは、TVドラマにも数多く出演する人気俳優で、本作で国家芸術院の「優秀俳優賞」を受賞した張皓越。またチェン・カイコーら巨匠監督やチェン・ツイーが審査員をつとめている、役者たちが演技力を競う中国の大人気テレビ番組「我就是演員」(訳: 私は役者)で準優勝となった涂松岩がバッキンガム公を演じるなど人気実力を兼ね備えた俳優陣に注目だ。また京劇の世界からは繊細優美な台詞回しと現代劇の心理表現で高い評価を得る張鑫のアン・ネヴィルが魅せる。



張皓越



涂松岩



張鑫

作:ウィリアム・シェイクスピア 演出:王曉鷹(オウ・ギョウヨウ)

出演:リチャード三世:張皓越(チョウ・コウエツ) バッキンガム公:涂松岩(ト・ショウガン) エドワード四世:田征(デン・セイ)

マーガレット:余南南(シャ・ナンナン) アン/王太子:張鑫(チョウ・キン) ヘイスティングス:李暉(リ・ヨウ)

エリザベス:王顯樺(オウ・コウカ) リッチモンド:李建鵬(リ・ケンホウ) クラレンス:王力夫(オウ・リキフ)

常順(ジョウ・テキ) 張志勇(チョウ・シユウ) 蔡景超(サイ・ケイチョウ) 打楽器:王佳男(オウ・ケイナン)

照明関連:温曉楠 音響:陳兵 衣裳:劉璇、溫曉聰 メイク:申森、甘玉婷 舞台装置:張新君、李少鵬

全体統括:周莉 舞台監督:王志強 テクニカルマネジメント:謝可

製作:中国国家話劇院

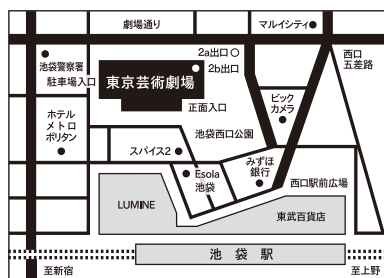
東京公演スタッフ

技術コーディネーター: 八木清市(ニクステージワークス) 舞台監督: 山貴理恵(ニクステージワークス) 衣裳: 阿部朱美 字幕翻訳: 菱沼形晃 字幕操作: 舞台字幕/映像 まくうち

上演プログラム編集: 菱沼形晃、任双双 記録録画: 古屋和臣 記録撮影: 松本和幸 制作: 合同会社 syuz'gen(植松侑子、増田祥基) 宣伝美術: 棚田達(nix graphics)

【公演日程】2019. 4/5(金) 19:00 | 4/6(土) 15:00★ | 4/7(日) 15:00

受付開始、ロビー開場: 開演60分前/開場: 各回30分前 上演言語: 中国語(日本語字幕付) ★公演後、ポストパフォーマンストークあり(司会: 飯塚容 通訳: 福井官察)



<東アジア文化都市関連事業>

主催: 豊島区、東京都歴史文化財団(東京芸術劇場)

公益社団法人ITI国際演劇協会日本センター

一般社団法人国際協力交流センター

後援: 中国大使館 協力: 日中演劇交流話劇人社

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



東アジア文化都市 2019 豊島

Culture City of East Asia 2019 Toshima

はらほら、ときどき、文化がいっぱい。



【本公演に関するお問合せ】合同会社 syuz'gen(しゅつげん)

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-18-27 トルネード203

TEL: 03-4571-0773 FAX: 03-4333-0878 [E-MAIL] info@syuzgen.com

【チケット取り扱い】

●東京芸術劇場ボックスオフィス

電話: 0570-010-296(ナビダイヤル) (休館日を除く10時~19時)

窓口: 劇場1階でのお申込み(休館日を除く10時~19時)

ウェブ: <http://www.geigeki.jp/ti/>

*受付開始、ロビー開場は開演の60分前、開場は30分前 *未就学児入場不可 *25歳以下は公演当日要年齢証明書

*車いすで観劇をご希望の方は東京芸術劇場ボックスオフィス(TEL: 0570-010-296 [休館日を除く10時~19時])までお問合せ下さい

【託児サービスのご案内】(事前予約制・有料)

東京芸術劇場 託児室(東京芸術劇場 5階) 開演30分前から終演30分後までお預かり可能

対象: 生後3ヶ月から小学校入学前のお子さま(定員あり)

料金: [1才まで] 2,560円 [2才~6才(就学前)] 2,160円(税込)

申込: HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた

[TEL] 0120-415-306(土・日・祝祭日を除く平日、午前9時から午後5時まで)

ご予約の際「東京芸術劇場の託児予約の件で」とお問い合わせください。

土・日・祝祭日を除くお預かり日1週間前までにお電話でご予約ください。

予告なく内容が変更になる場合があります。